

2008年(平成20年)1月10日 木曜日

県政振り返り地域展望

おかやま
適塾 元県議の原氏講演

地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第十九回おかやま適塾」が九日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールであり、県議を十期務めて昨年引退した原寿男氏が「四十年間の長き議員経験を生かし岡山の展望を語る」と題して話した。



おかやま適塾で講演する原元県議

「地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷土の未来を考える」
「第十九回おかやま適塾」が九日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールであり、県議を十期務めて昨年引退した原寿男氏が「四十年間の長き議員経験を生かし岡山の展望を語る」と題して話した。

「土俵の上で相撲をとるのと同じで、三百六十度から見られてい

る。力を抜いたら分かる」と強調。最もやりがいを感じたプロジェクトに吉備高原都市の建設を挙げ、「物事は五十年、百年の物差しで見なければならぬ」と説いた。

今後の在り方が議論さ

れている倉敷チボリ公園に関しては「倉敷市にとっては、利益を生まなくても心の癒やしになる庭のようなもの。つぶせという声もあるが十分考えてほしい」とした。

おかやま適塾は毎月第二、第四水曜日、幅広い分野から講師を招いて開いている。(長田憲司)